

平成30年11月6日

新居浜市における災害情報伝達手段

概 要

新居浜市の概要

愛媛県の東部

人口 120,005人

世帯数 57,599世帯

高齢化率 31.6%
(愛媛県 31.6%)

<平成30年9月末現在>



新居浜市の概要

新居浜太鼓祭り
近代化産業遺産

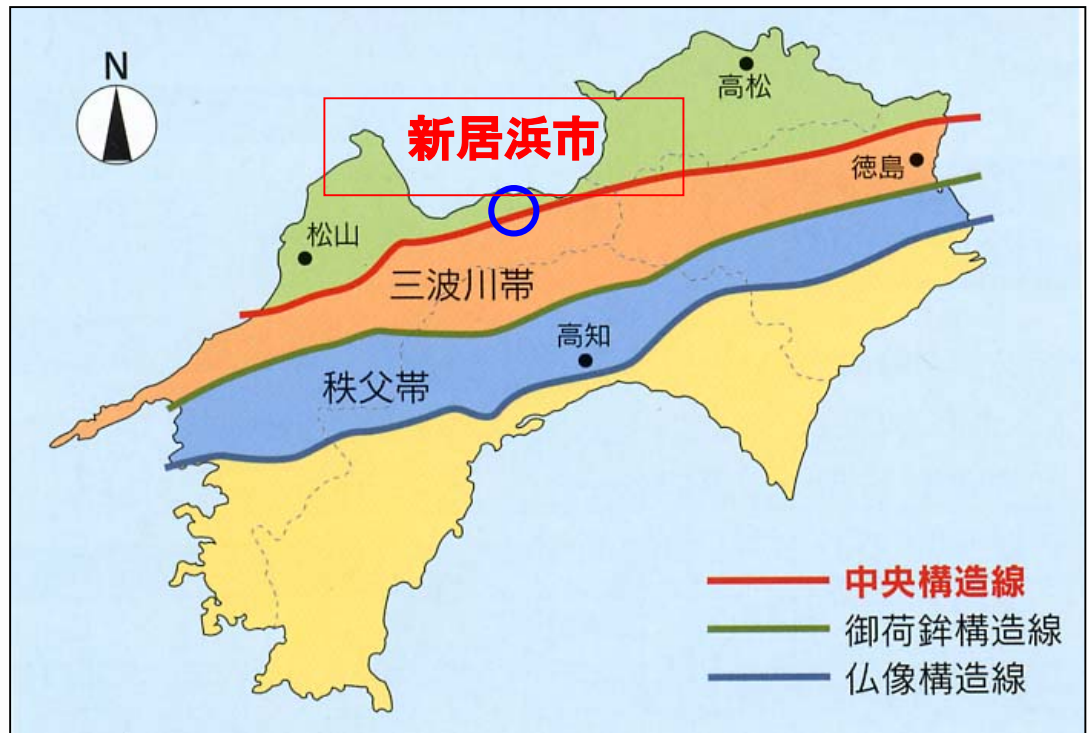


四国の地質

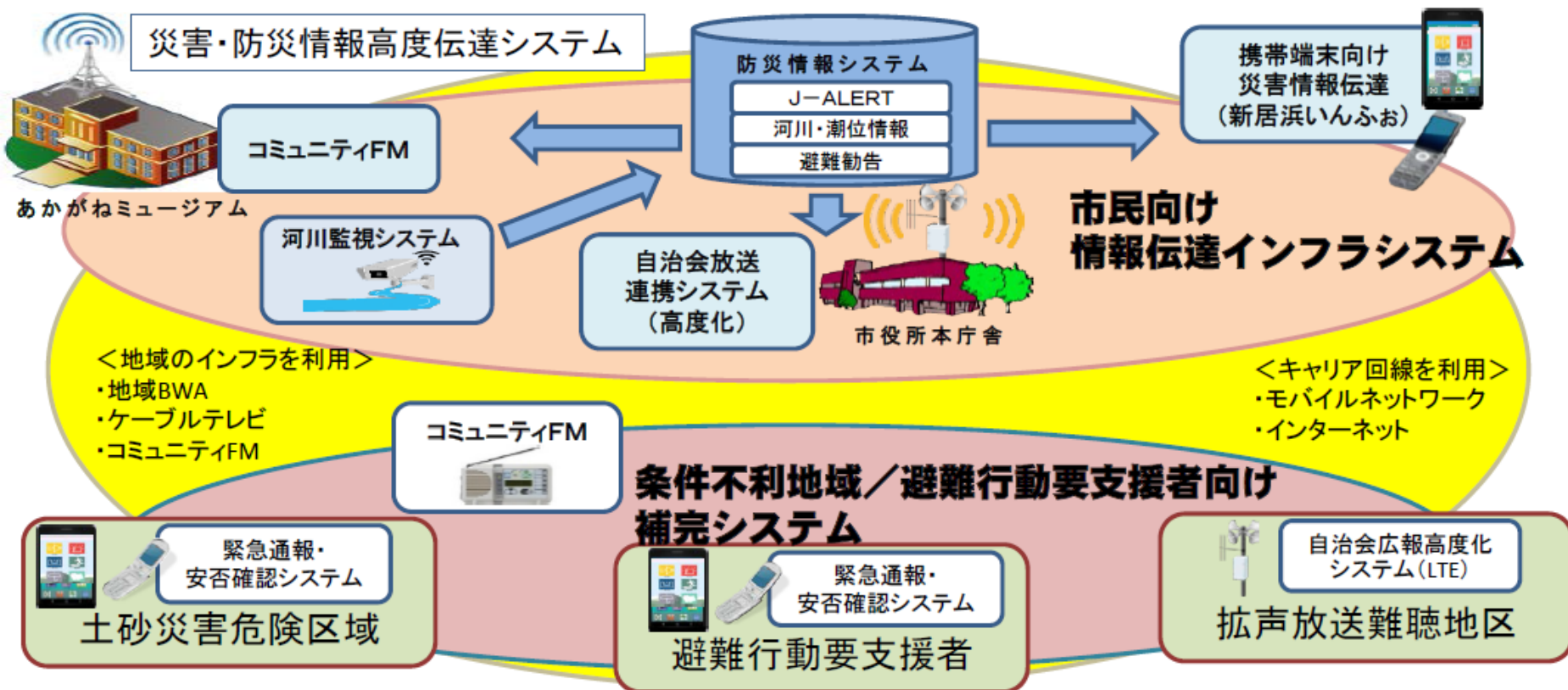
□ 四国を東西に貫く3本の構造線

□ 急峻な地形

□ 脆弱な地質



団体名	愛媛県新居浜市
事業概要	防災情報等を住民に適時適切に伝達するために、①コミュニティFM設備、②地域BWAを活用した屋外放送システム、高画質河川・潮位監視カメラ等及び③携帯電話やスマートフォンを利用した防災情報の伝達・安否確認システムの整備を行って、これら手段の伝達効果の分析・改善などの検証を行う。



新居浜市災害・防災情報伝達システム

家の中で
聞き取り可能

いつでも
どこでも

地震・津波
弾道ミサイル

J-ALERT
河川・潮位情報
避難勧告

③携帯端末向け
災害情報伝達
(新居浜いんふお)

①コミュニティFM局
あかがねミュージアム

見に行か
なくても

④河川・潮位
監視カメラ

落神川・尻無川
カメラ新設

②自治会放送
連携システム
WIMAXをLTE
に
(さらに高度化)

新居浜市役所

安定性
向上

市民向け
情報伝達通信網

<地域のインフラを利用>

- ・コミュニティFM
- ・地域BWA(LTE)
- ・ケーブルテレビ

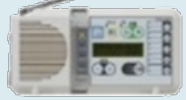
<通信事業者回線を利用>

- ・モバイルネットワーク
- ・インターネット

課題解決

条件不利地域・要援護者を救済

FMラジオ



コミュニティFM
防災ラジオ
100世帯配布

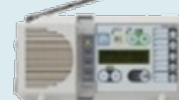


緊急通報・
安否確認システム

土砂災害危険区域・要援護者

安否確認
避難所に
避難する

FMラジオ



コミュニティFM



自治会広報高度
化システム(LTE)

拡声放送難聴地区

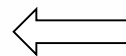
H29.11.1 コミュニティFM放送開始

12.2 実証実験実施

H30.4.1～ FM放送本運用開始

◆ 【既存】防災行政無線による情報伝達システム → **防災行政無線システム**

- ①屋外拡声放送
- ②戸別受信機を使い住民宅への情報伝達



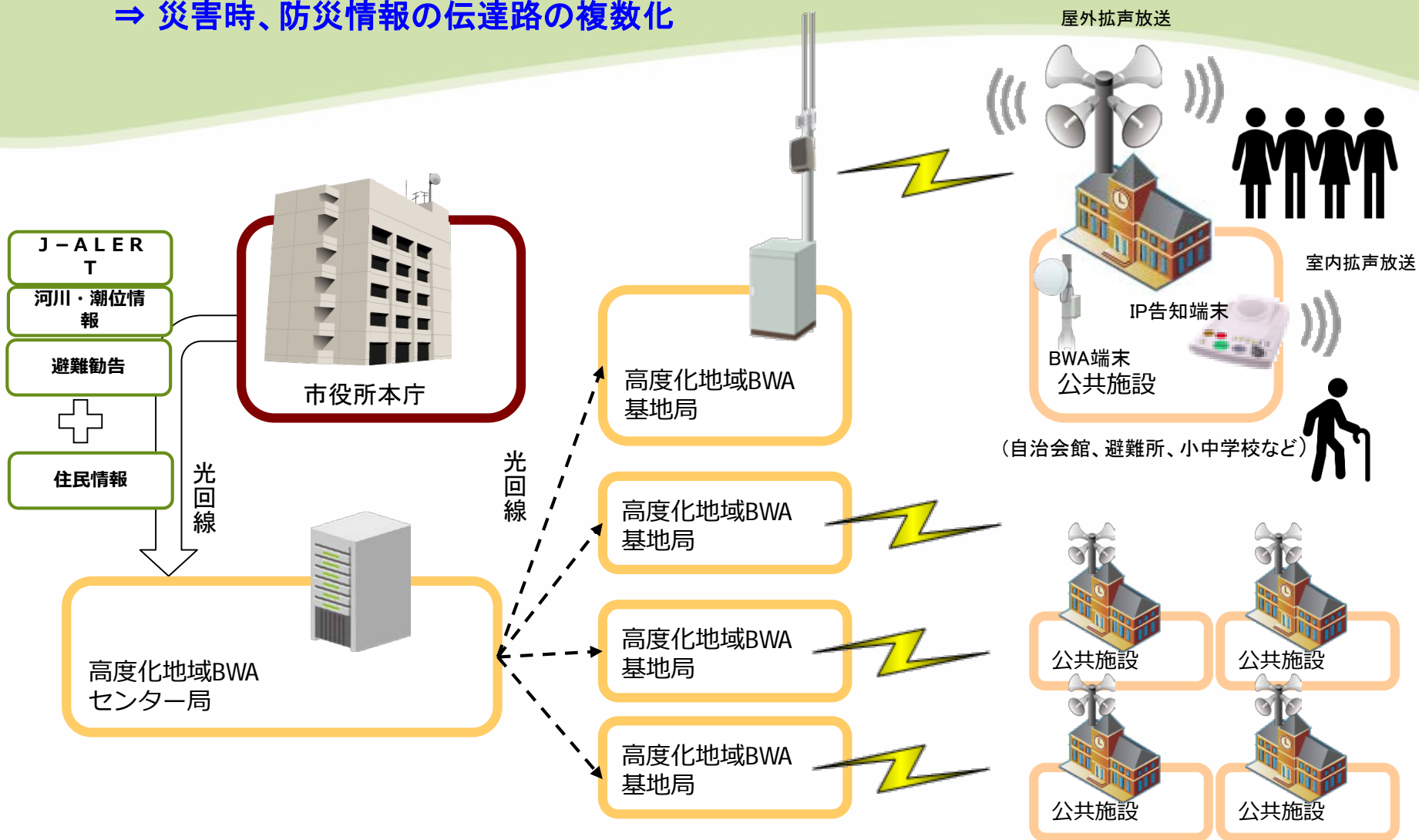
防災情報の伝達路の複数化

◆ 【新たに整備※】地域BWAを活用した情報伝達システム

- ③市役所と自治会館等の公共施設を結んだIP告知端末
- ④水位を観測するカメラ映像を市役所まで地域BWAで伝送
- ⑤無線LANホットスポット
- ⑥住民の安否確認
- ⑦スマートフォン・アプリによる情報提供
- ⑧コミュニティFMのインターネットサイマル放送

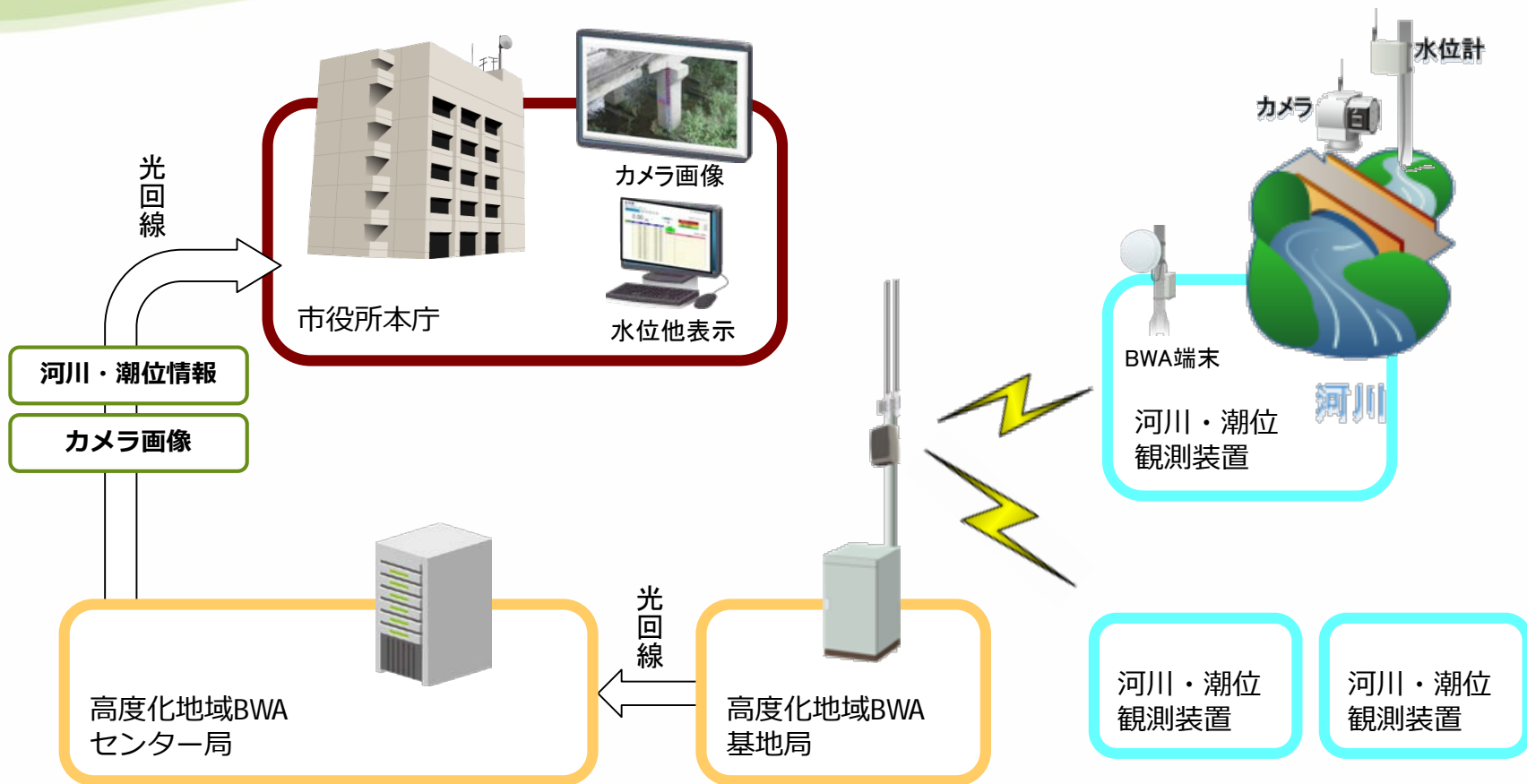
③市役所と自治会館等の公共施設結ぶ

⇒ 災害時、防災情報の伝達路の複数化



④ 水位を観測するカメラ映像を市役所まで、高度化した地域BWAで伝送

⇒ カメラ映像の改善



④水位を観測するカメラ映像を市役所まで、高度化した地域BWAで伝送

⇒ カメラ映像の改善

【これまでの課題】

河川の水位の上昇に対し、定性的な判断しかできなかった。



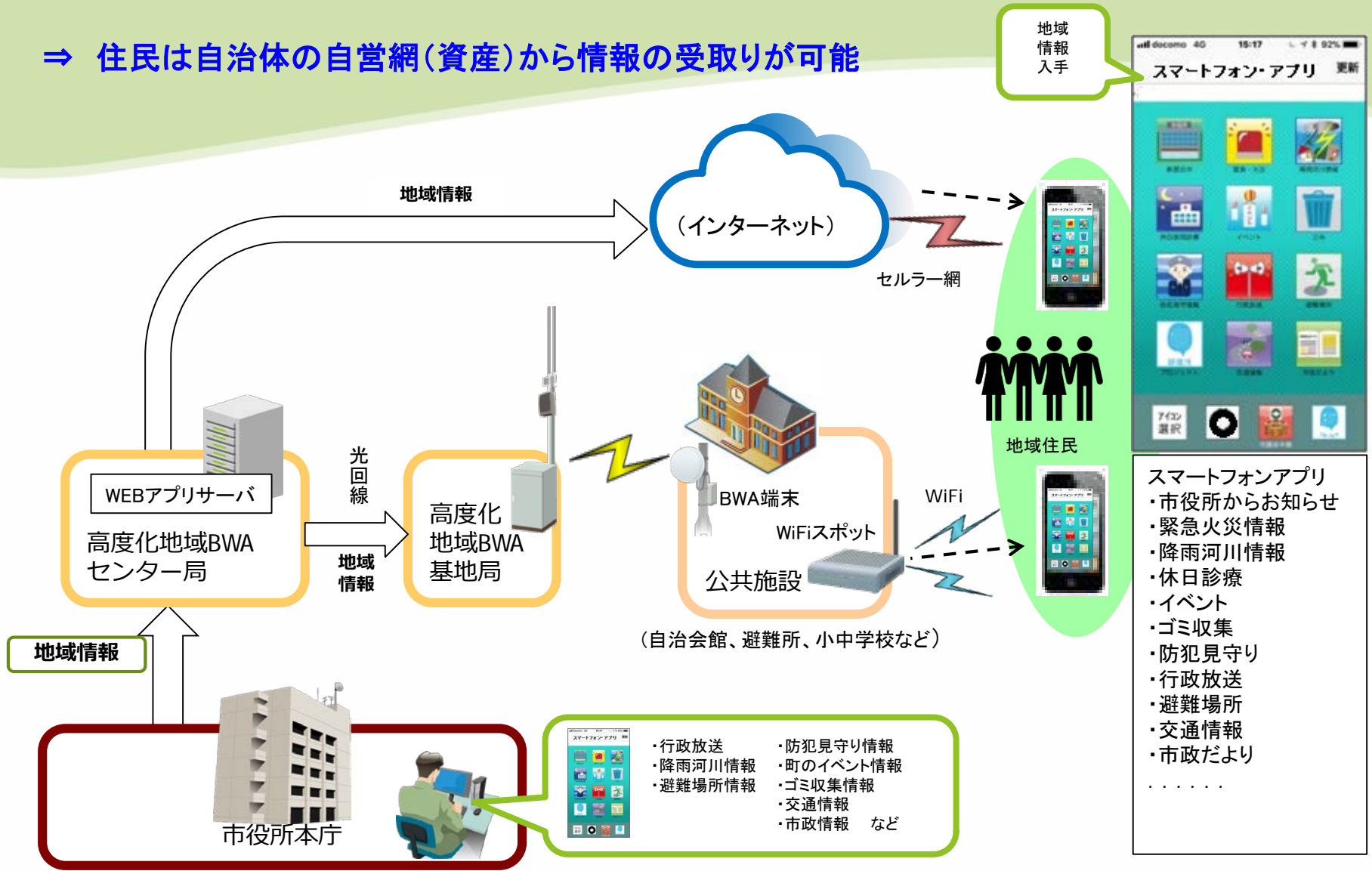
カメラ画像の改善により水位値まで確認可能



写真.新カメラ画像

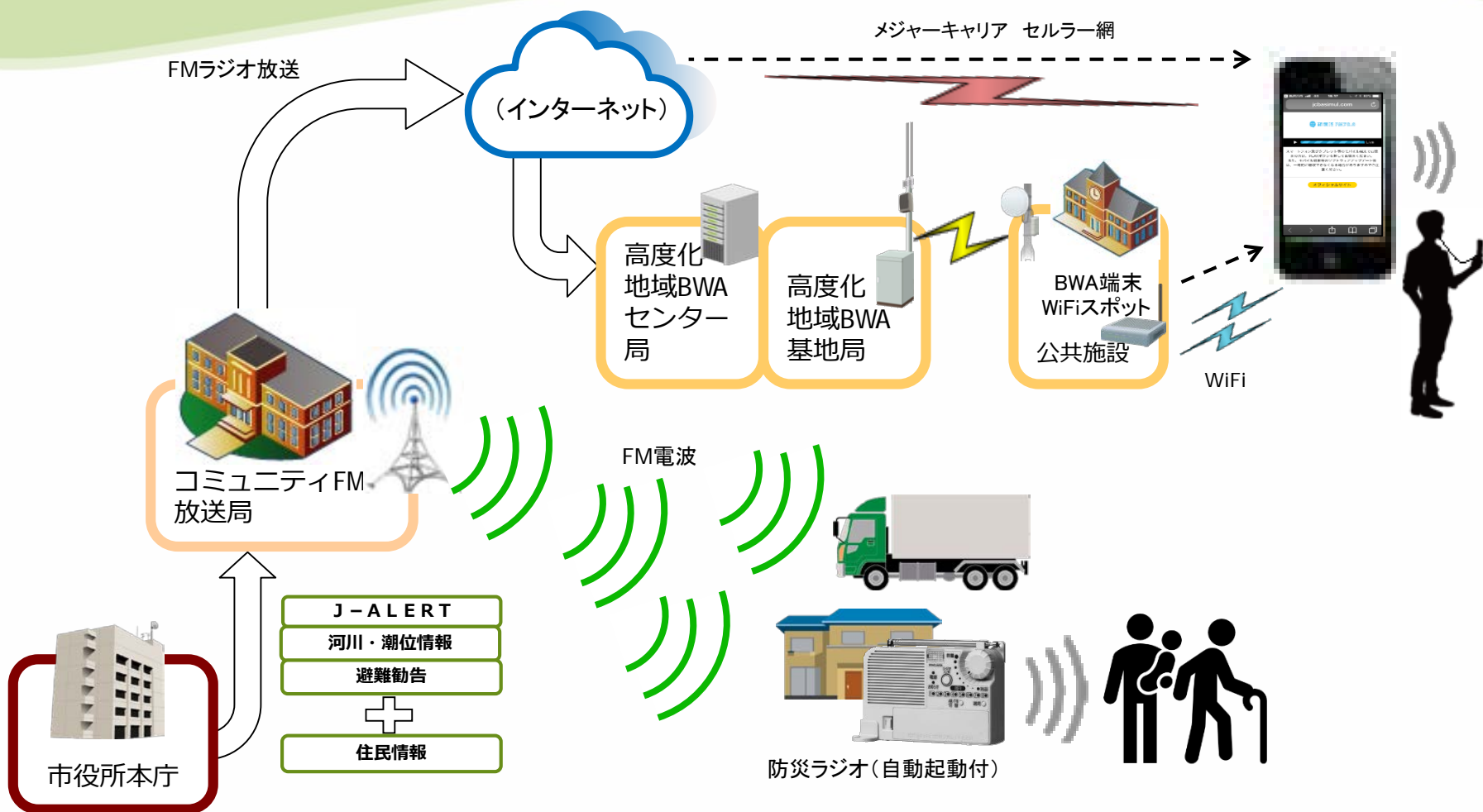
⑧スマートフォン・アプリによる情報提供

⇒ 住民は自治体の自営網(資産)から情報の受取りが可能



⑨コミュニティFMのインターネットサイマル放送

⇒ 住民は3種類の方法でラジオ聴取可能





Hello!
NEW

新居浜

ご清聴ありがとうございました。